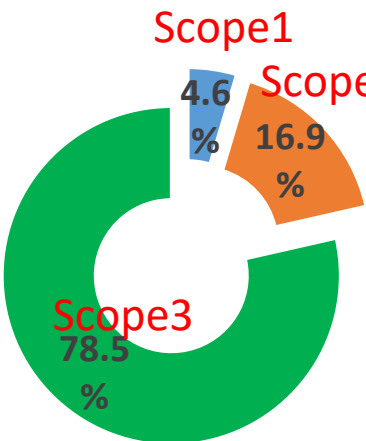
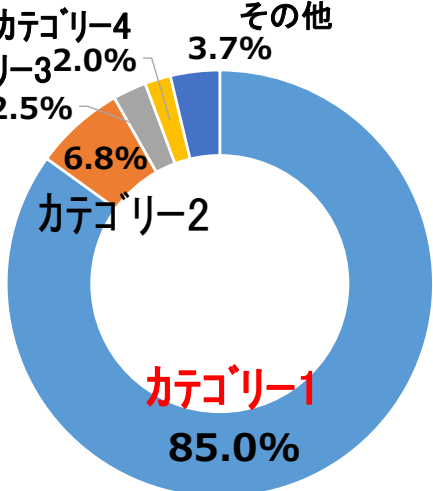


住友理工株式会社

項目	内容
1.企業情報	<p>業種：ゴム部品製造業</p> <p>事業概要：「高分子材料技術」「総合評価技術」を軸に、自動車用防振ゴムやホースなど高機能ゴム・樹脂製品を23か国106拠点で製造・販売</p> <p>事業規模：[2018年度]： 売上(連結)：4,697億円従業員数(連結)：26,156名</p>
2.削減目標案	<p><Scope 1・2の削減目標と削減に向けた取り組み></p> <p>目標：2030年に2017年比で33%削減</p> <p>取り組み：工場の日常改善に加え、生産や原動力における革新技術の導入による省エネおよび再エネ導入を推進</p> <p><Scope 3の削減目標と削減に向けた取り組み></p> <p>目標：2030年に2017年比でScope3カテゴリ1を20%削減</p> <p>取り組み：製品の小型化、廃棄物削減（歩留まり向上）などによる原材料使用量の低減等の推進</p>

住友理工株式会社

項目	内容																																				
3.基準年のGHGインベントリ	<p>● Scope 1・2・3の排出量の状況</p> <p>【'17年度 住友理工グループ】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p><Scope別比率></p> </div> <div style="text-align: center;">  <p><Scope3カテゴリ別比率></p> </div> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;"> <p>Scope3カテゴリ別比率詳細</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="background-color: #4F81BD; color: white;">カテゴリ</th> <th style="background-color: #4F81BD; color: white;">比率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カテゴリ-1</td> <td>購入した製品・サービス</td> <td>85.0%</td> </tr> <tr> <td>カテゴリ-2</td> <td>資本財(設備)</td> <td>6.8%</td> </tr> <tr> <td>カテゴリ-3</td> <td>Scope1,2に含まれない燃料およびエネルギー活動</td> <td>2.5%</td> </tr> <tr> <td>カテゴリ-4</td> <td>輸送・配送(上流)</td> <td>2.0%</td> </tr> <tr> <td>カテゴリ-5</td> <td>事業から出る廃棄物</td> <td>0.8%</td> </tr> <tr> <td>カテゴリ-6</td> <td>従業員の出張</td> <td>0.2%</td> </tr> <tr> <td>カテゴリ-7</td> <td>従業員の通勤</td> <td>0.8%</td> </tr> <tr> <td>カテゴリ-9</td> <td>輸送・配送(下流)</td> <td>0.2%</td> </tr> <tr> <td>カテゴリ-10</td> <td>販売製品の加工</td> <td>0.6%</td> </tr> <tr> <td>カテゴリ-12</td> <td>販売製品の廃棄</td> <td>1.0%</td> </tr> <tr> <td>カテゴリ-15</td> <td>投資(株式保有)</td> <td>0.06%</td> </tr> </tbody> </table> </div>	カテゴリ		比率 (%)	カテゴリ-1	購入した製品・サービス	85.0%	カテゴリ-2	資本財(設備)	6.8%	カテゴリ-3	Scope1,2に含まれない燃料およびエネルギー活動	2.5%	カテゴリ-4	輸送・配送(上流)	2.0%	カテゴリ-5	事業から出る廃棄物	0.8%	カテゴリ-6	従業員の出張	0.2%	カテゴリ-7	従業員の通勤	0.8%	カテゴリ-9	輸送・配送(下流)	0.2%	カテゴリ-10	販売製品の加工	0.6%	カテゴリ-12	販売製品の廃棄	1.0%	カテゴリ-15	投資(株式保有)	0.06%
カテゴリ		比率 (%)																																			
カテゴリ-1	購入した製品・サービス	85.0%																																			
カテゴリ-2	資本財(設備)	6.8%																																			
カテゴリ-3	Scope1,2に含まれない燃料およびエネルギー活動	2.5%																																			
カテゴリ-4	輸送・配送(上流)	2.0%																																			
カテゴリ-5	事業から出る廃棄物	0.8%																																			
カテゴリ-6	従業員の出張	0.2%																																			
カテゴリ-7	従業員の通勤	0.8%																																			
カテゴリ-9	輸送・配送(下流)	0.2%																																			
カテゴリ-10	販売製品の加工	0.6%																																			
カテゴリ-12	販売製品の廃棄	1.0%																																			
カテゴリ-15	投資(株式保有)	0.06%																																			

住友理工株式会社

項目	内容
<p>4.気候変動によるリスク（●）と機会（○）の分析</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●自動車のEV化に伴い、エンジン用自動車用防振ゴムやホースなど需要が減少となるリスクがある。 ●将来的に原材料調達が厳しくなり、事業継続に大きなリスクが懸念される。 ○自動車のCASE対応に伴い、スマートセンサー関連商品の需要が拡大する。 ○事業構造変革や技術革新の推進力となる。
<p>5.削減目標設定の背景・目的・期待する効果など</p>	<p>当社では、現在2022年度ビジョンで、CO2排出量売上高原単位8%減（対2017年度）を掲げている。</p> <p>しかしながら、SBTのWB2℃目標の水準には整合しない目標であり、今後策定予定のポスト2022年度ビジョンではSBT目標を視野に目標策定およびSBT認定取得を考えている。</p> <p>また、SBT目標設定を、より生産技術や生産効率の向上、生産コストの削減の推進力にしていきたい。</p>

住友理工株式会社

項目	内容
6.目標設定のプロセスと社内の議論	<ul style="list-style-type: none">● 環境部門で目標案を検討、社内環境委員会で社内コンセンサスを得て、トップの承認、その後にSBT申請を進める予定。現在、社内環境委員会において、SBTに関する情報提供を行って論議している段階である。● 社内環境委員会では、SBT目標があまりにハードルが高くその実現性への疑問が多い。一方、SBT目標の考え方＝ありたい姿を描き、バックキャストで目標を設定するという考え方が社内ではなかなか浸透しない。
7.今後の課題	<ul style="list-style-type: none">● CO2排出に関して、事業継続のためにそのリスクと機会をより深めて社内議論していくこと。● SBT目標は非常にハードルが高いため、より一層の技術革新、再生可能エネルギーの活用ならびにサプライヤーとの協働をどのように進めていくかが課題。